

## T4章 4種類の時間表現

日本語の時間表現は、時(テンス)と相(アスペクト)の使い方で4種類に分類することができます。

### T4.1 時間表現には4種類ある (62)

- (1) 有時相表現……時と相の両方が現れる (63)

例: 今朝は家で音楽を聴いていた。[過去・進行中]

- (2) 時のみ表現……時相の「時」のみが現れる (66)

例: 昨日、鈴木さんに会った。[過去・事象]

- (3) 相のみ表現……時相の「相」のみが現れる (68)

例: (ト書き) 由紀、メールを読んでいる。[無時・進行中]

- (4) 無時相表現……時と相のどちらも現れない (70)

例: 春には春の花が咲く。[無時・事象]

### T4.2 3つ以上の事象の時間関係 (72)

3つ以上の事象の時間関係についての研究はこれからの課題です。

### T4.3 なぜ4種類の時間表現があるのか (74)

4種類は歴史的に発生したと考えられます。

T4.1 時間表現には4種類ある

C10.3

時間表現は、時(テンス)と相(局面・アスペクト)の関わり方で4つに分類できます。

表T4-1 現代語の時相表現4種類

	時相表現	時	相
(1)	有時相表現 時○ 相○	時○ 発話時と関係あり 未来	相○ 局面を指示する 開始 完了 状態消滅 
(2)	時のみ表現 時○ 相×	時○ 発話時と関係あり 未来	相× 局面を指示しない 開始 完了 状態消滅 
(3)	相のみ表現 時× 相○	時× 発話時と関係なし 	相○ 局面を指示する 開始 完了 状態消滅 
(4)	無時相表現 時× 相×	時× 発話時と関係なし 	相× 局面を指示しない 開始 完了 状態消滅 

動詞は3つに分類します。  
 [存在動詞] ある, いる, おる  
 [静態動詞] 思う, 感じる, 困る, 感謝する, 見える  
 (感覚動詞・知覚動詞等の一部)  
 [動態動詞] 読む, 話す, 降る, 光る, 喜ぶ, 怒る

表T4-2 動詞3分類と時相(原則)

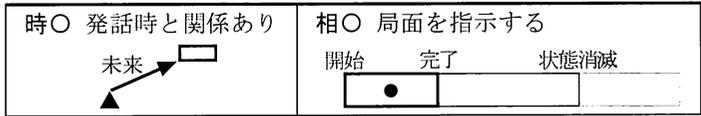
動詞 \ 時相	(1) 有時相		
	過去	現在	未来
存在動詞	局面①b②③タ	局面①②ル	局面①②ル
静態動詞	局面①b②③タ	局面①②ル	局面①②ル
	局面②④⑥テイタ	局面②④⑥テイル	局面②④⑥テイル
動態動詞	局面①b③タ	局面①ル <del>タ</del>	①ル
	局面②④⑥テイタ	局面②④⑥テイル	局面②④⑥テイル

動詞 \ 時相	(2) 時のみ			(3) 相のみ	(4) 無時相
	過去	現在	未来	時なし	時相なし
存在動詞	タ	ル		局面①②ル, 局面③タ	ル
静態動詞	タ	ル		局面①②ル, ③⑤タ, テイタ	ル
				局面②④⑥テイル	
動態動詞	タ	ル		局面①ル ③⑤タ, テイタ	ル
				局面②④⑥テイル	

(1) 有時相表現……時と相の両方が現れる

C10.5 ④, C11.1 ④

図T4-1  
有時相



- ・ 事象の生起を過去・現在・未来のいずれかにおいて、ある1局面で捉えます。
- ・ 動詞3種類のあり方の異同

動態動詞は②で用いられません。存在動詞は④をテイルで表現しません。

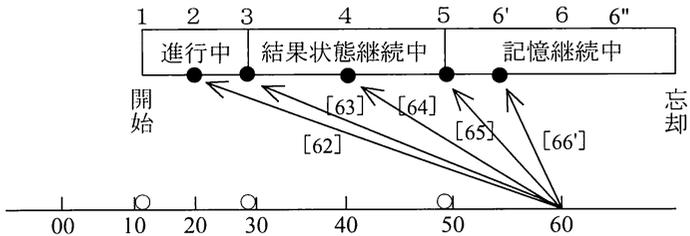
	開始 ②	完了 ④	結果状態消滅
存在動詞	ある		
静態動詞	思う 思っている	思っている	
動態動詞	話している	話している	

図T4-2 動詞3種類の異同

- ・ 過去の開始①a (T1.2 参照)と、未来の完了は「始める／終わる」のような補助的な要素を用いて表現します(『文法』16.3)。(従属節の場合は別)

過去

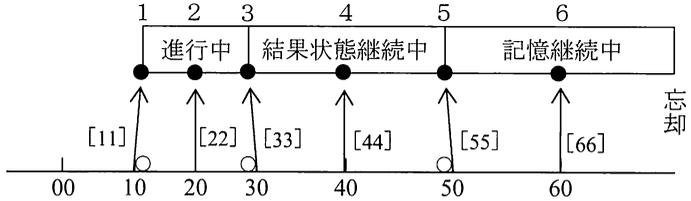
- ★過去・開始 木を切った([ 41b][ 61b])が、切れなかった。  
※過去の開始は次のように通常補助的な要素を使用します。  
初めて来たとき、ここに住みたいと思い始めた。[41][61]  
帰宅途中で雨が降りだした。[41][61]
- ★過去・進行中 電話が鳴ったとき、ちょうど彼女がいた。[42][62]  
彼が来たとき、田中さんと話していた。[42][62]
- ★過去・完了 会議まえに全部伝えた。[43][63]
- ★過去・結果状態 その日は窓を開けていた。[64] (開けてあった)
- ★過去・状態消滅 (さっきまで)着物を着ていた。[ 65 ]([ 64 ])
- ★過去・記憶 彼女はそのときまでに渡米していた。[66']



図T4-3 有時相表現・過去

現在

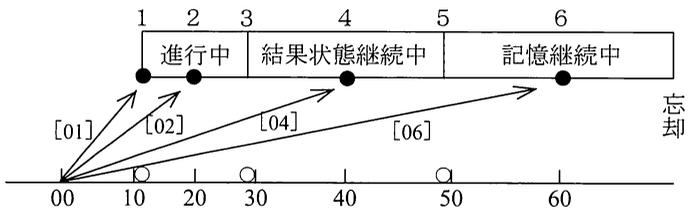
- ★現在(直近未来)・開始      いま彼が話す。[11]
- ★現在・進行中              その塔はいまもそこにあります。[22]  
私はそう考えます／考えています。[22]  
いま彼女は、田中さんと話している。[22]
- ★現在(直近過去)・完了      ちょうどいま全部伝えた。[33]
- ★現在・結果状態            今日は窓を開けている。[44] (開けてある)
- ★現在(直近過去)・状態消滅 (いままで)正座をしていた。[55][54]
- ★現在・記憶                彼は20代後半にはそう考えている。[66]  
彼女は先週渡米している。[66]



図T4-4 有時相表現・現在

未来

- ★未来・開始                まもなく富士山が見えます。[01]  
3時間後に彼が話す。[01]
- ★未来・進行中            明日の昼休みには、彼女は田中さんと話している。[02]
- ★未来・完了                ※未来の完了には補助的な動詞が必要です。  
このレポートは明日書き終わる。[03]
- ★未来・結果状態        明日は窓を開けている。[04] (開けてある)
- ★未来・状態消滅        ※未来結果状態消滅[05]には補助的な動詞が必要です。  
式終了とともに正座をしてい終わる。[05]
- ★未来・記憶                彼女は来年12月までに渡米している。[06]

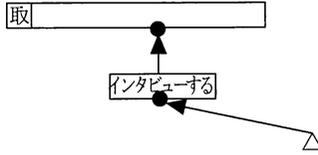


図T4-5 有時相表現・未来

従属節がある場合の例

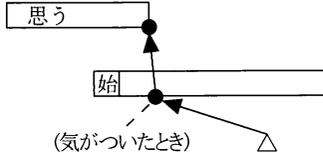
例3,4の従属節 < >内の時間表現は有時相ではなく、時のみ表現です。

例1 彼は<金メダルを取った>選手にインタビューしていた。(相対時と絶対時)  
(同時・結果状態) (過去・進行中)



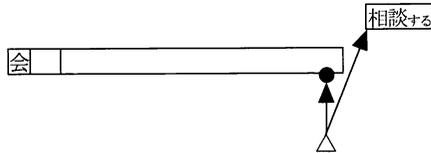
図T4-6 彼は<金メダルを取った>選手にインタビューしていた

例2 <運命共同体だと思っていた>子がサロン脱毛を始めてた。(相対時と絶対時)  
(直近以前・完了) (過去・結果状態)



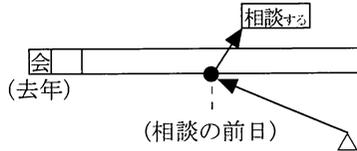
図T4-7 <運命共同体だと思っていた>子がサロン脱毛を始めてた

例3 <これから相談する>人には去年会っている。(両方とも絶対時)  
(直近未来・事象) (現在・記憶)



図T4-8 <これから相談する>人には去年会っている

例4 <(翌日)相談する>人には去年会っていた。(相対時と絶対時)  
(以後・事象) (過去・記憶)



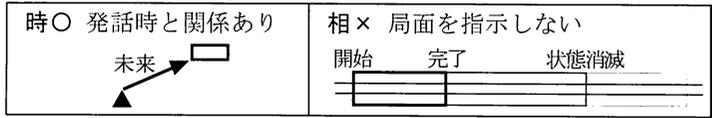
図T4-9 <(翌日)相談する>人には去年会っていた

問T4-1 「来年の9月までには富士山に登っている。」の時間図を示してください。

(2) 時のみ表現……時相の「時」のみが現れる

C10.5 ③, C11.1 ③

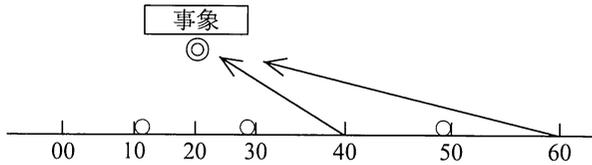
図T4-10  
時のみ



- ・ 事象の生起が過去，現在，未来のどの時における生起であることを伝えることに重点があり，局面を捉えることには関心がありません。
- ・ 事象を局面で捉えずに事象そのものとして捉えることを表す記号は「○」です。(p.7 参照) (次ページのように◎を省略するときもあります。)

過去

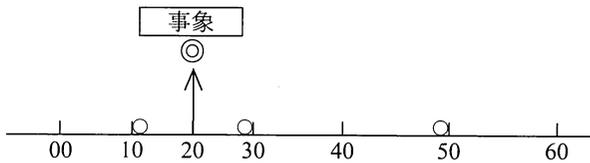
- ★過去・事象      彼女は先週京都にいた。[4 ◎][6 ◎]
- ★過去・事象      私はそのときは本当に困った。[4 ◎][6 ◎]
- ★過去・事象      彼は去年中国へ行った。[4 ◎][6 ◎]



図T4-11 時のみ表現 過去

現在

- ★現在・事象      彼がここにいる。 [2 ◎]
- ★現在・事象      そういうことでは困る。 [2 ◎]
- ★現在・事象      私は目が焼けるように痛む。 [2 ◎]
- ★現在・事象      ※動作動詞は使えません。(テイル形は「相」を表すので。)



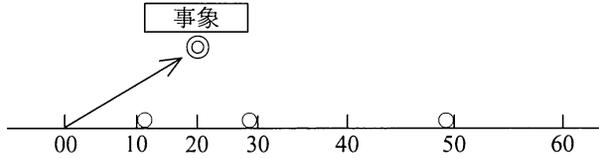
図T4-12 時のみ表現 現在

問T4-2 「私は来年富士山に登る。」の時間図を示してください。

問T4-3 「彼が見た映画はシン・ゴジラだった。」の時間図を示してください。

未来

- ★未来・事象 彼は明日は自宅にいる。 [0 ◎]
- ★未来・事象 彼が来ると困る。 [0 ◎]
- ★未来・事象 私は来週この本を読む。 [0 ◎]
- ★未来・事象 彼女は来年卒業する。 [0 ◎]

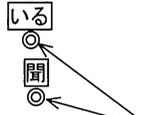


図T4-13 時のみ表現 未来

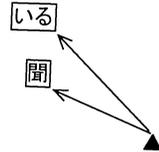
従属節がある場合の例

右側の図のように◎を省略することもあります。

- 例1 <そばにいた>人に聞いた。  
(過去・事象) (過去・事象)

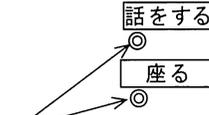


図T4-14 そばにいた人に聞いた

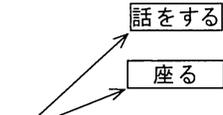


図T4-15 ◎を省略

- 例2 <話をする>人はここに座ります。  
(未来・事象) (未来・事象)

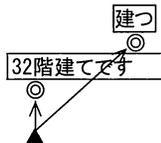


図T4-16 話をする人はここに座ります

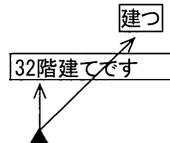


図T4-17 ◎を省略

- 例3 <あそこに建つ>ビルは32階建てです。  
(未来・事象) (現在・事象)



図T4-18 あそこに建つビルは32階建てです

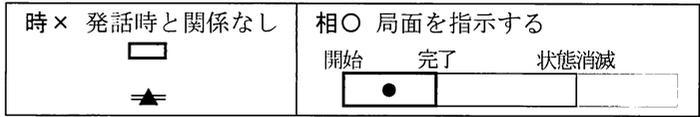


図T4-19 ◎を省略

(3) 相のみ表現……時相の「相」のみが現れる

C10.5 ②, C11.1 ②

図T4-20  
相のみ



- ・ 事象を相(アスペクト)で捉えるだけで、時を意識しない表現です。
- ・ 例文の後についている[2][4][6]等は局面を表しています。

★無時・開始

これからごはんを食べます。(写真を見て)[1]

ごはんの前で箸を持つ子の写真を見てこう言います。  
事象そのものは過去ですが、「時」に無関心なので、  
「食べました」のようにしません。



図T4-21 これからごはんを食べます

※「これからごはんを食べます。」は有時相表現では[直近未来・開始]になります。どちらであるかは、発話者の意識によります。

★無時・進行中

携帯で話しながら歩いている。(写真を見て)[2]

たとえば、歩行者の写真を見ながらこう言います。  
「時」に無関心なので、「歩いていた」のようにしません。



図T4-22 歩いている

★無時・進行中

この海岸には強い風が吹いている。(写真を見て)[2]

★無時・進行中

由紀、男と話している。(ト書き)[2]

★無時・進行中

(当時)この人はそのようにして暮らしている。(講話)[2]

★無時・完了

よし、買った。[3](買う意志の表明です。p.24)

★無時・完了

お、金メダルを取った。[3](授賞式はまだです。pp.19-20)





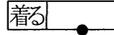
図T4-23 よし、買った

図T4-24 金メダルを取った

問T4-4 「おとといは1時から会議をしている。」で「していた」でない理由は。

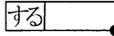
問T4-5 「若いときの彼は本当にやせているね。」で「やせていた」でない理由は？

★無時・結果状態 彼女は市松模様の着物を着ている。(写真を見て)[4]



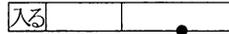
図T4-25 着物を着ている

★無時・状態消滅 彼は正座をしていた。(立ち上がる写真を見て)[5]



図T4-26 正座をしていた

★無時・記憶 その日は、一か月前にその店に入っている。[6]  
(「その日」は過去でも「入っていた」になっていません。)



図T4-27 入っている

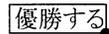
従属節がある場合の例

例1 <車を運転している>由紀が歌い始める。(ト書き)  
(相対テンス/同時・進行中) (無時・開始)



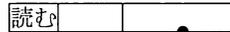
図T4-28 車を運転している由紀が歌い始める

例2 私たちは<優勝した>先輩を祝福している。(写真を見ながら)  
(相対テンス/以前・完了) (無時・進行中)



図T4-29 優勝した先輩を祝福している

例3 <彼からもらった>本はこの前の誕生日にはもう読んでいる。  
(相対テンス/以前・完了) (無時・記憶)



(誕生日)

図T4-30 もらった本を読んでいる

(4) 無時相表現……時と相のどちらも現れない

C10.5 ①, C11.1 ①

図T4-31 無時相	時 × 発話時と関係なし	相 × 局面を指示しない
	□ ▲	開始 完了 状態消滅 □ □ □

- ・ 事象の現象的側面よりは質的側面や事象存在そのものを伝えます。
- ・ 発話時との関係を時相として表現せず、動詞のル形で表します。

事象  
◎

図T4-32 事象を無時相で捉える

事象を「質的側面」で表現する場合 …… 下記の場合以外もあり得ます。

㉑ 事象を原理・原則・習慣として表現する

★自然法則……地球は太陽の周りを回る。／エビはゆでると赤くなる。[◎]

回る  
◎

なる  
◎

図T4-33 太陽の周りを回る

図T4-34 赤くなる

★科学的認識…2は偶数である。／5に3をたすと8になる。[◎]

★方法……クラスの総点を人数で割れば、平均点が出る。[◎]

★規則……道路は青信号で渡る。／希望者は申請書を提出する。[◎]

★慣習……正月に年賀状を出す。／電話で「もしもし」と言う。[◎]

★習慣……彼は酒に酔うと裸で踊る。／彼は夕食後歌を歌う。[◎]

㉒ 事象を属性面から表現する（所有・傾向・能力・評価・妥当・心理・その他）

※たとえば下例の「彼女はよく笑う。」のように、「傾向」と捉えることができるものでも、発話者の発話意図によっては「評価」「心理」であることもあり得るように、同じ表現が他の項目に該当する場合のあることは言うまでもありません。

★所有……彼には大学生の兄がいる。／彼女には大きな家がある。[◎]

いる  
◎

ある  
◎

図T4-35 兄がいる

図T4-36 家がある

- ★傾向……彼女はよく笑う。／彼は他人を家来のように思う。[◎]
- ★能力……彼は英語を上手に話す。／彼女は軽飛行機が操縦できる。[◎]
- ★評価……ここから富士山がよく見える。／この路線のバスはよく揺れる。[◎]
- ★妥当……パソコンのことは彼に聞く。／寄付として3000円出す。
- ★発話者の心理(感嘆)……彼は上手に歌うね。／よく降るねえ。[◎]
- ★発話者の心理(感情)……その手の話は心が痛む。／この部屋は息が詰まる。[◎]

事象を「事象存在そのもの」として表現する場合 ……下記以外もあり得ます。

㉞ 事象を項目として表現する

「項目」とは、1つの物事を一定の基準で小分けにした1つひとつの部分。

- ★編年体の中で…この頃、殷滅び、周興る。／年号を大化とする。[◎]

興る

◎

する

◎

図T4-37 周興る

図T4-38 大化とする

- ★案内・手引き…赤いボタンを押す。／豆腐を賽の目に切る。[◎]
  - ★ト書き………男1笑う。／由紀、窓を開ける。[◎]
  - ★予定………到着後鈴木氏宅に行く。／その前に電話する。[◎]
- ※予定の場合は時のみ表現としても考えられます。発話者の意識次第です。

㉟ 事象そのものとして表現する

- ★事実………先月北京でA教授に会う。／容疑者逮捕される。[◎]
- ★写真の説明……浜辺で遊ぶ。／のど自慢で優勝する。[◎]

従属節がある場合の例

例1 <能ある>鷹は爪を隠す。  
(無時相/所有) (無時相/傾向)

例2 <オレだ、オレオレと言う>電話は切る。  
(無時相/事実) (無時相/妥当)

能がある

◎

オレだと言う

◎

爪を隠す

◎

電話を切る

◎

図T4-39 能ある鷹は爪を隠す

図T4-40 オレだと言う電話を切る

問T4-6 「前を走る車に犬が乗っていた。」の「走る」を説明してください。

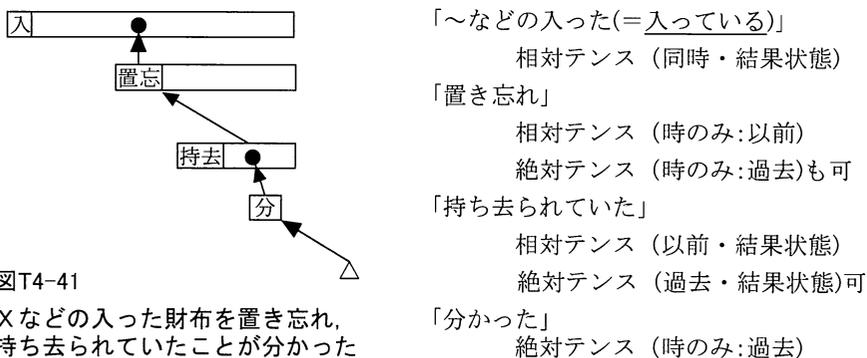
問T4-7 「彼は1989年のマラソン大会で優勝します。」の「優勝します」の説明は。

T4.2 3つ以上の事象の時間関係

2つの事象の時間関係は既に見てきました。3つ以上の事象がある場合の時間関係についてはこれから研究を進める必要があります。ここでは、参考までによくつかの例の時間図を挙げておきます。

(a) Aさんが<現金約20万円や結婚指輪などの入った>財布をタクシーに置き忘れ、何者かに持ち去られていたことが5日分かった。

この文には4つの事象が入っていて、それぞれは以下の時間関係にあります。  
※修飾節は< >で示す場合があります。

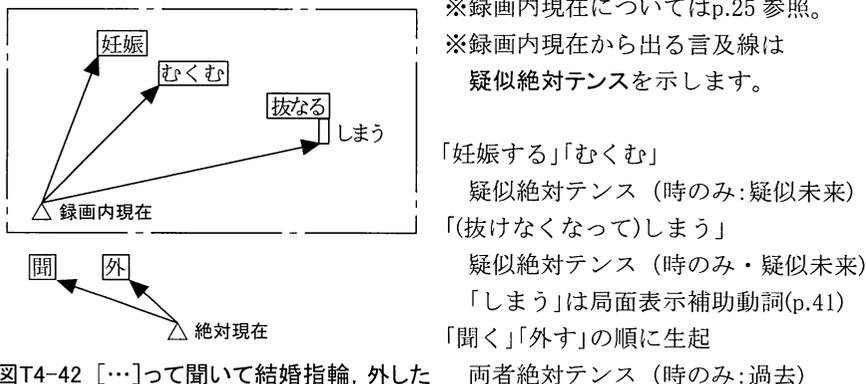


図T4-41

Xなどの入った財布を置き忘れ、  
持ち去られていたことが分かった

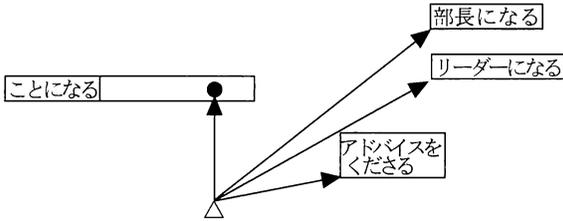
(b) 結婚指輪外したわ。[妊娠すると むくんで 抜けなくなっちゃうんだ]って(聞いた)。

2番目の文には引用文が入っています。引用文は[ ]で示し、図示では一点鎖線の枠の中に入れて示します。「って」の後に「聞いた」を補って考えます。



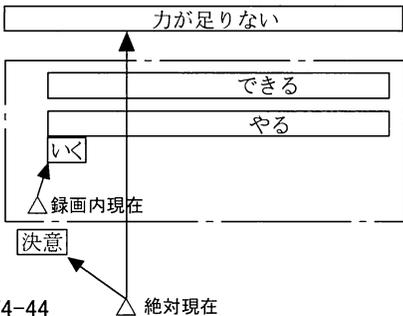
図T4-42 [...]って聞いて結婚指輪、外した

(c) 部長になることになっています。〈良いリーダーになるための〉アドバイスをください。



図T4-43 〈良いリーダーになるための〉アドバイスをください の時間図  
 「部長になる」……………未来・事象（時のみ）◎  
 「ことになっている」……………現在・結果状態④  
 「リーダーになる」……………未来・事象（時のみ）◎  
 「アドバイスをくださる」…未来・事象（依頼）◎  
 この「未来」は「リーダーになる」より前の未来

(d) 力は足りませんが、[〈自分にできる〉ことをやっといこう]と決意しました。



「力が足りない」  
絶対テンス(現在・進行中)  
「できる」  
(無時相:能力)  
「やる」  
疑似絶対テンス(疑似未来・開始)  
「いく」……局面表示補助動詞(p.40)  
疑似絶対テンス(疑似未来・開始)  
「決意した」  
絶対テンス(時のみ:過去)

図T4-44  
[できることをやっといこう]と決意した

**疑似絶対テンス**

例(b)(d)に見るように、「録画内現在」(や「設定現在」) から出る言及線を「疑似絶対テンス」を示すものとして扱います。「疑似」というのは、基準点が発話時点としての絶対現在になっていないという意味です。絶対テンスで「過去・現在・未来」となる時間領域は「疑似過去・疑似現在・疑似未来」となります。

問T4-8 「タクシー運転手に暴行したとして、警視庁が男Aを現行犯逮捕していたことが同庁への取材でわかった。」の時間図を示してください。

## T4.3 なぜ4種類の時間表現があるのか

## 歴史的に生じた4種類

C10章

推測ですが、日本語にはまず時間表現というものがなかったと考えられます。それは(ア)「無時相」の段階で、事象の生起のみを表現すればよかつたはずで

次に、(イ)事象を局面で捉えることができるようになり、開始・継続・完了等の「相(アスペクト)」の観念で事象のあり方を細かく表現するようになりました。

ここに生じた完了等の観念から、(ウ)過去・非過去の観念が生じました。この非過去の領域において、現在と未来が区別されるようになり、最終的に過去・現在・未来の時(テンス)の観念が生じました。(絶対テンスの後に相対テンスも。)

そして、(エ)時と相とが組み合わせられるようになって、今日に至っているものと考えられます。

以上は推測にすぎません。特に(イ)(ウ)(エ)の現れた順序は単純にこのとおりではなく、複雑な経緯があるはずで

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| (ア) 無時相の表現 | 事象の生起のみを表現する。         |
| (イ) 相の表現   | 事象の局面(相的あり方)を表現する。    |
| (ウ) 時の表現   | 事象の、発話時点との時間的関係を表現する。 |
| (エ) 有時相の表現 | 事象の相と時を組み合わせる細かく表現する。 |

現代語を使う私たちは、この4種類の時間表現を駆使して、発話意図に合わせた確かな表現ができるようになっています。

## 4種類の時間表現で整理する

現代語の時相モデルで表す時相は歴史的に生じたものです。たとえば、局面②(動作進行中)はもとは「ている」を付ける必要はありませんでした。時相モデルで示される時相表現の歴史的変化を整理すれば、4種類の時間表現との関連も分かり、興味深い結論を得ることができるでしょう。

ことわざは古い時代に生まれました。そのころはまだ今日のように(エ)有時相の表現は発達していなかったので、「て」を使うことはありませんでした。ことわざや慣用句・昔からの言い回しなどに使われている時相関係表現を整理してみるのもおもしろいでしょう。

説明しにくい時間関係の表現を探して、それを説明することを本書に記載されている理論で試みてください。そしてなお理論的に不足することがあれば、補足していきましょう。